

隊 務 報 告

<装備考察>

今回の装備は、昨年の報告を参考にしたので、不必要なものはほとんどなかった。海外遠征の場合、装備をよく検討しておかないと、思わぬ失敗につながるので、十分注意すべきだと思う。不必要なものをかなり削ったわけだが、重量的には土産や現地購入食糧のためか、疲れるものであった。これは異国での活動ということも原因の一つになっていると思う。

隊員が2人という事もあり、ビデオを持って行けなかったのであるが、海外での調査に、できることなら持って行きたかった。

また、通訳やガイドの装備も、できるだけ日本で用意してやれば、相手も喜ぶし、一体感が得られると思う。

装備名称	備 考
ツェルト	倉庫としてキャンプ内では利用、なくても別に問題はない
飯合・バーン・7分	特に飯合は役に立った(お湯を沸かす時など)
水ポリ(10L)	キャンプ内では水の確保に役立つ。途中は不必要
カセットレコーダー(小型)	音楽等を録音したわけだが、別マイクの方がよい
カセットテープ	60分もので十分だと思う。
カメラ	一眼レフと、オートフォーカスの2台を使用したわけだが、それぞれの持ち味を生かせたと思う。
フィルム	リバーサル13本、モノクロ7本、カラー3本、(36枚撮り)を使用した。ルサカ・ルブンバシ市内での撮影ができなかったためか、フィルムが余った。
レンズ(広角)	望遠レンズを持っていけばよかったと思う。写真をとる時に逃げてしまう人や、ポーズをとる人が多く、とりた
	い写真がなかなかとれなかった。

ストロボ	ストロボ付きのオートフォーカスが一台あってよかった。キャンプ内でつぶれてしまい、一眼レフの夜の撮影が途中からできなくなった。
乾電池	現地にも売ってはいるが、高く性能が悪いようだ。土産にも使えると思う。
懐中電灯	小さめのものを持っていったが、役に立つ。
細引き	洗濯物を干したり、メジャーにもなり役に立った。
ロールペーパー	一人一個は必要。いろいろに使える。 (トイレ、物をつつむ、脱脂綿がわり)
レバブック・ノート・ ホルダー・巻尺 下敷・温度計	調査をやるには必要不可欠。ノート類は土産にもなり喜ばれる。紙はタバコの巻き紙にも使用された。下敷はノートを利用してもいけるが、とじ金のついたものは便利であった。
辞書	英・仏・スワヒリ語、必要。
非常食(ラーメン)	病気になった時食べる。日本食が恋しい時にも食べた。
裁縫具(一式)	小型のバックに入ったものが便利。
ガムテープ・ビニール袋	いろいろ使え、必要。
シャツ・防寒着	夏用で十分。しかし、朝方や船の上では冷えた。
下着	パンツとTシャツであったが、両方とも交換用品になる。
靴・ソール	底の堅いもので軽いものがよい。ソールは洗濯等で必需品。
ナイフ	多目的ナイフが便利である。
ライター・時計	使い捨てライターをできるだけ持っていくべきだ。ライターも時計も土産や交換用品に十分になる。
水筒	ポリタンクよりも、肩からつるせるようなものがよい。
封筒・便箋	Post Office があってもカードの売っていない所があり、連絡をするために、常に1セットを用意しておくべきだ。
手袋	軍手が隊に1つあれば、それで十分。

<撮 影>

今回の遠征では、カメラ2台(一眼レフと自動焦点)を駆使したわけだが、自動焦点のカメラが大いに役に立ったと思う。撮りたいシーンをすぐに撮れるというカメラは、今回のような、カメラ(写真)の珍しい地域においては必要不可欠だと思う。一眼レフでピントや露出の調節をやっている間に、人々が集まってきてポーズをとり、記録写真が記念写真になってしまったことが何度かあった。また、バテンボキャンプ内では、女性や子供達の何人かはカメラを構えている我々に気づくと、仕事をやめてしまい顔を隠したり、逃げてしまう人たちもいた。(我々がカメラから手を離すと、笑ってもどってきて、遅いと言わんばかりの顔をしていた。)ここで断っておきたいことは、相手が病気で寝ているところなど、後で問題になりそうなシーンは撮らなかった。常に、許可を得てシャッターを切っていた。

また、望遠レンズがあったらと思える時が何度かあった。遠くから気づかれないように、自然の姿、ポーズのない姿を何度か撮りたいと思った。

カメラの珍しい地域で、写真をとるたびに、手をだされ、今の写真をくれと言われて困った。日本にもどってから送ってやることにしていたが、ボラロイドカメラがあればと思っていた。

撮影後は、常にノートに「どこで、何をとったか」を書き込み、現像後の整理の時を考えて、写真をとった。(これは調査活動においては、必要不可欠の作業であると思う。合宿が長くなり、フィルムの本数がふえるに従って、より正確にしっかりと書いておかねば、何の写真かわからなくなってしまうからだ。また、物を写す場合も、その物の大きさが大体でもわかるよう比較対象物を横に並べ、一緒に写したつもりだ。

ルサカ ・ルブンバシの市内では、公共物が多く、撮影を拒否されこともあり、ほとんど写すことができなかったことを、ここに書いておきたい。

重要だと思われる写真は2台でとった。フィルムは常に2種類のものにしてた。リバーサルフィルムはいつも、どちらかのカメラに入れておいた。

<食糧>

調査地に入るまでは、パンと牛乳を買ってきて食べていた。

調査地での食生活は「ひもじい」の一言である。朝は紅茶一杯。昼は一人あたり肉5きれぐらい。しだいにブガリが手に入りにくくなった。夜は、ブガリと昼と同量の肉。最初は割合、肉も食べられたが、丁度、我々が調査地に入ってから、獲物がとれなくなってしまったのだ。毎日、獲物を持って戻るのを祈っていた。ブガリにも抵抗を感じていたが、手に入る量が少なくなってくると、それも恋しくなってくる。ブガリを食べないと腹がふくれない。いつ、ブガリ・肉が食べられなくなるかわからないので、ラーメンが食べたくとも我慢した。しかし、ブガリがなく、肉も数切れという時は、2人前のラーメンに水と塩を多量に入れ、通訳のジョンと3人で分けて食べた。

ルブンバシで購入していったタバコもなくなってきた、バテンボのすっている紙巻きタバコをもらうが、これが強烈！

また、彼らは採集生活をほとんどしないので、くだものなどにはお目にかかれない。バギギから買うしかない。

甘いものがないというのもつらかった。ある日、バテンボの1人の老人が、ハチの巣をもってきてくれた。あの美味さは今も忘れられない。

< 渉外に関して >

大学発行の和文、英文、仏文の証明書は実に役に立った。アフリカには大学が少ないからであろうか、「UNIVERSITY」という文字に威力があった。パスポートのチェックを受ける時や、ビザ取得に利用した。和文は現地の邦人の家に泊めていただく時などに使った。

とにかく、「UNIVERSITY」の証明書と、一生懸命に英語で説明をすることで、何とかなるものである。

< 医 療 >

今回の遠征で苦しめられた病気をあげると、下痢(主に水あたり)、風邪、マラリアの3つだと思う。

7月7日 ザンビアで室沢、横山共に下痢。水あたりと思う。最初のマニラ、カラチあたりでは水に対して注意していたのだが、しだいに慣れてくると、ついつい注意を怠る。

7月9日 ザイル・ルブンバシで室沢が風邪気味。2～3日体調がすぐれない。ザンビア、ザイルは予想以上に涼しく、朝晩は毛布一枚だけで寝ていると寒かった。

調査地内では、出来るだけ水を煮沸するよう心掛けたが、やはり川の水をそのまま飲んでいて。一晩外に置いていた肉を、朝見てみると、大量のハエの幼虫がうごめいている。火を通せば大丈夫だと通訳は言うが、何とも気味が悪い。おかげで、室沢、横山ともに3～4回下痢をした。しだいに疲労がたまってくると、風邪にかかりやすくなる。マラリア予防に、クロロキン、ベネキンをのんでいたこともあり、薬負けを防ぐためにビタミン錠の併用も続けた。

調査地の活動が終り、カサマ村に8月8日戻る。マラリア予防薬を服用していたものの、8月11日、横山がマラリアで寝込んでしまった。

<会 計>

国内支出

分 類	金 額	備 考
渡航費	¥ 4 6 7, 3 2 0	東京=141円19.5万×2、E(3国)3.016万×2 大阪→成田0.85万×2
渉外費	¥ 1 8, 5 4 0	通信, 交通
装備費	¥ 9, 2 8 0	
医療費	¥ 1 2, 8 6 0	予防接種(コレラ, 横熱, 痘そう, 破傷風)
保険費	¥ 1 6, 6 4 0	3ヶ月
合 計	¥ 5 2 4, 6 4 0	

フィリピン支出 (PISO)

タクシー, タバコ, 飲食, etc.	P 5 0 0	1 us\$ = 2 0 P
------------------------	---------	----------------

パキスタン支出 (RUPPEE)

バス, 飲食	R 2 5 7	1 us\$ = 1 2 . 9 R
--------	---------	--------------------

ケニア支出 (SHILLING)

移動費	K.sh 10,840.9	ナイロビ→ムサ5,234K.sh(¥82,100)×2 空港税80K.sh×2, ナイロビ26.4K.sh×2
滞在費	K.sh 461	宿泊, 飲食
渉外費	K.sh 65	通信, 土産
医療費	K.sh 8.25	抗マラリア剤
合 計	K.sh 11,375.05	

ザンビア支出 (KWACHA)

移動費	K. 63.7	ルサカ→チンゴバ(バス)13.35K. タクシー
滞在費	K. 10.7	飲食
渉外費	K. 0.28	通信
合 計	K. 74.68	

ザイール支出 (Zaire)

移動費	Z. 1, 285	ルンバシ=カシガ(車)200Z×3, カシガ=フイト-(船)200Z×3, 他カシ-
滞在費	Z. 2, 158	宿泊, 飲食, e t c.
渉外費	Z. 920	通訳, ポーター, 通信
合 計	Z. 4, 363	

国別ドル換算支出

国 名	使用レート	\$支出(換算)	備 考
フィリッピン	(公定) 1 \$ = 20 P	25 \$	
パキスタン	(公定) 1 \$ = 12.9K.	20 \$	
ケニヤ	(ヤミ) 1 \$ = 15.3K.sh	743 \$	公定レート 1 \$ = 13K.sh
ザンビア	(ヤミ) 1 \$ = 2.5K.	30 \$	公定レート 1 \$ = 1.17K.
ザイール	(ヤミ) 1 \$ = 30 Z	145 \$	公定レート 1 \$ = 5 ~ 6 Z.
合 計		963 \$	レートは S.58.6~8月現在

☆総支出合計 (ルブンバシで隊解散後は含まない)

¥524, 640 + \$963 (¥231, 120) = ¥755, 760 ※

〔国 内〕 〔海外〕 (1\$=¥240)